

野	球
の	楽
し	さ
を	
こ	も
の	た
ち	に
を	伝
え	たい

鬼北PHEASANTS



地

域の子どもたちに野球の楽しさを知ってほしい。

きっかけはこの思いからでした。

三島地区の有志5人で、鬼北PHEASANTS(フェザンズ)が活動を開始してから1年と数カ月。保護者の協力や理解を得て、子どもたちに軟式野球を教えています。

部員は22人で全員が野球未経験者。活動は月・水・金の午後7時から9時まで行っており、指導者と子どもたちが一緒に汗を流しています。

指導方針としては、あいさつ、礼儀、人に対する優しさなどを特に大事にして教えていきたいそうです。

その言葉どおり、子どもたちは、暴投をすれば「すみませんでした」、ボールを取ってもらうと「ありがとうございました」、バッターボックスに入る時は「お願いします」と、元気よく声を出していました。

指導者の方からは、「今まで、野球をしたくても三島にはその環境がなかった。中学、高校に進学して野球ができるよう、その一助となれば嬉しい」、「現在6年生が1人いるが、その子が卒業するまでに試合を経験させてあげたい」など、子どもたちに対する思いはとても強いものを感じました。

バットやボールなどの道具は、盆踊りなど、地域の行事で出店などを出し、その売上金の中から購入しており、地道に活動しています。

今後のさらなる活躍に期待します。



▲子どもたちに指示を出す丸石監督



◀打ち方を丁寧に教えるコーチ